

お茶っこハウス

—宮城県石巻市旧桑浜小学校の校長邸リノベーション—

細 田 みぎわ*

(2016年11月24日 受理)

設計・監理：細田みぎわ + Hosoda Archi-Studio

Ochakko House:
Renovation of Primary School Principal's House
Closing of Kuwahama Primary School in Miyagi Ishinomaki

Migiwa HOSODA*



写真1 ウッドデッキ越しに旧桑浜小学校の校舎が見える

* 広島女学院大学人間生活学部生活デザイン・建築学科
教授

1. はじめに

2011年東日本大震災以前より桑浜小学校は廃校となっていた。この小学校は、宮城県石巻市雄勝町桑浜にあり、そこはリアス式海岸の小さな漁港のある町である。人口が減少し限界集落の危機を迎えていたが、大震災で多くの住宅が津波で流され拍車がかかった。現在では、公営住宅が建設され漁業は回復したが、人口が増えることは期待できない。

この廃校は、「MORIUMIUS」子供のための環境自然学校としてリノベーションされ、運営されている。NPO 法人 sweet treat 311（現 NPO 法人 MORIUMIUS）は、2011年3月11日の東日本大震災直後から、石巻市を中心とした避難所、孤立集落、仮設住宅に食料やスイーツを届ける活動からはじまり、2012年豊かな自然（森と海）を背景に、この廃校を子供の施設として蘇らせた。現在は、自然の循環を体感し、サステナブルで生きる力を育む環境自然学校として再生し、同時に地元の人々の協力・運営により、地域の再生を目指す。被災した東北3県の子供たちに質の高い体験プログラムを提供することが、「MORIUMIUS」のコンセプトである。

校舎をリノベーションし、食堂、活動の場所、子供の宿泊室とし、同時に校庭の北東端に露天風呂を新たにづくり、校舎のすぐ南・校庭の一部には田んぼができた。豚小屋や鶏小屋もづくり、自給自足を目差している。2017年1月には、校庭内に「MORIUMIUS annex」（保護者のための宿泊施設）をオープンした。また、滞在者と地域住民との交流として、毎月、地域にモリウミアス通信を配布し活動を報告、食堂に地域住民を招き、モリウミアスランチを開催している。

校庭にある二宮金次郎の石造の背後には、取り残された旧校長邸（校長先生の居宅）が当時の面影を残しつつ廃墟となっていた。他のどの施設よりも道路側に面しており、地域住民にはなじみのある風景の一部である。そ

のため、決して解体することなく残したい風景である。

当初より、旧校長邸は地域住民専用の憩いの場として開放し、「MORIUMIUS」滞在者との交流が生まれる拠点として企画されていたが、2014年より具体的な設計・施工が始まった。

2. コンセプト

東北地方では、お茶に袋菓子と漬け物などでとりとめない話をして時間を過ごすことを「お茶っこする」という。地域住民になじみのある風景の中で、この小さな空間は日々のお茶っこの場となる。そしてその間、周辺の自然を存分に味わうことができるように、緑や風を感じることでできる空間とした。南側の窓は全開口の引戸とし、ウッドデッキ越しに太平洋の海を望むことができる。畳スペースや洗面所からは裏山の緑を眺めることができ、キッチンスペースからは隣接する露天風呂の竹垣が見える。また、西側入口ガラス戸や出窓からは二宮金次郎像の背中越しに校庭をながめ、子供たちの遊ぶ姿をうかがうことができる。既存の開口部に新たな窓枠を基準モジュールに収まることなく大きめに設け、より周辺環境を取り込むことができるように考えた。

この木造平屋建ての建築に耐震補強を行うため、既存の材料を一度取り外し、補強工事を行い、再び取付けを行った。木部は取り替えて新品にするよりもできる限り古材を再利用し、その味わいを残すための方法をとった。

そして、東北の冬の厳しい寒さの防寒対策としては、薪ストーブを設置する。土間の三和土、ウッドデッキのペンキ塗りはボランティアの協力により完成した。

尚、このプロジェクトは、『みやぎ地域復興支援助成金助成金』を受け、「旧校長邸を改修・活用した地域住民の憩い・学びの場、交流拠点創出事業」として工事が行われた。



写真2 校庭からの外観
手前に二宮金次郎の石造、
左に露天風呂



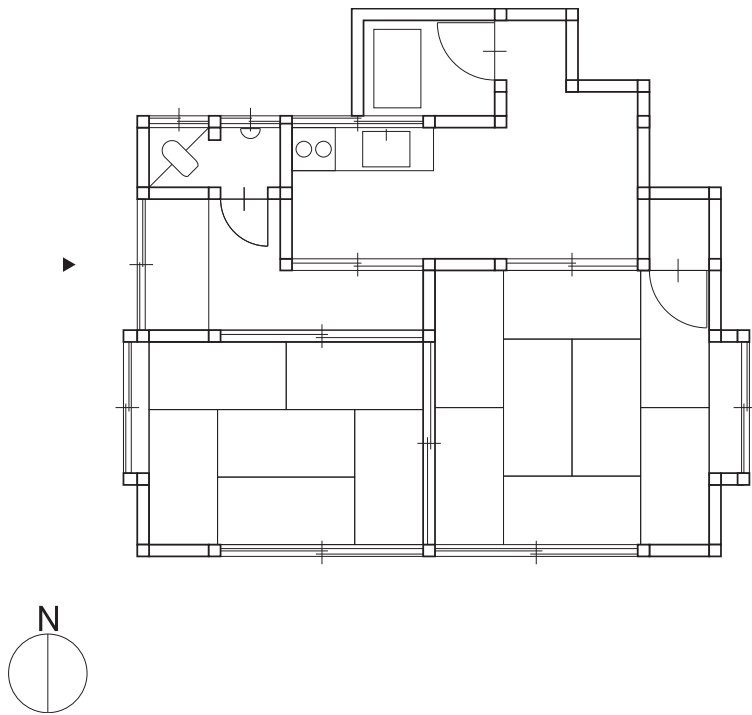
写真3 南側外観 ウッドデッキが海に面している



写真4 木製全開口サッシを開け、土間スペースからウッドデッキ越しに海を見る



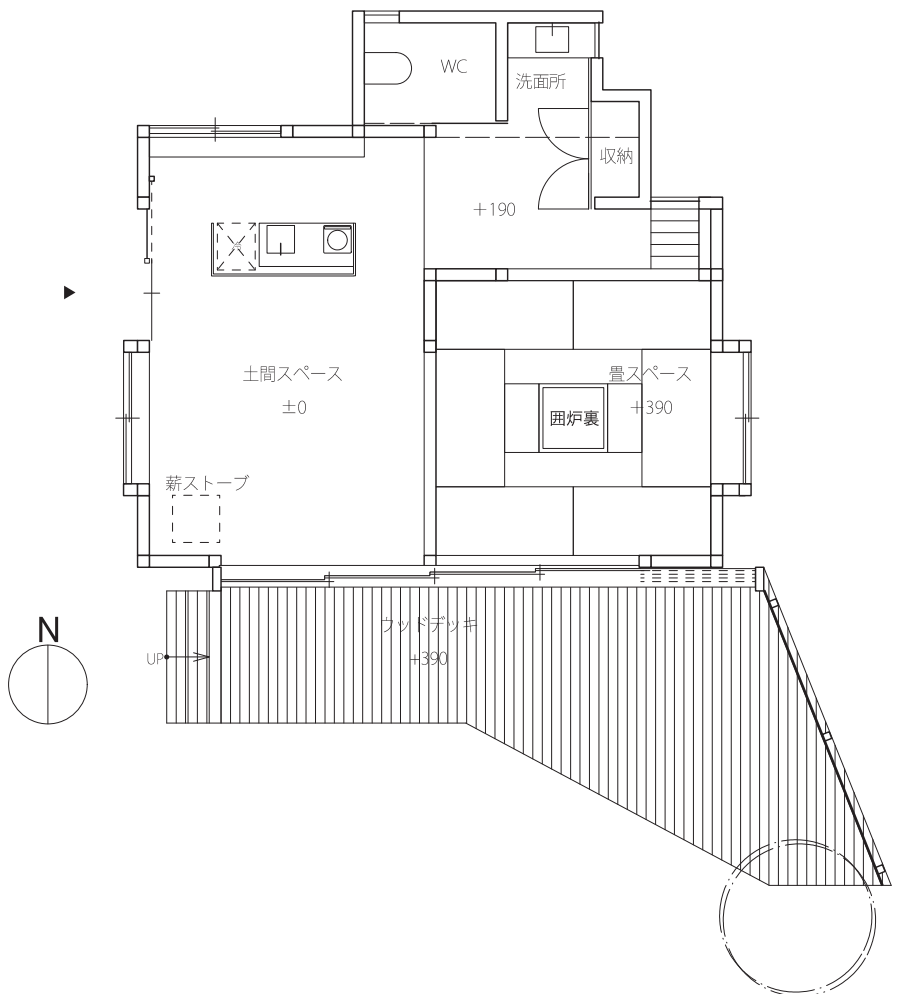
写真5 既存小屋組



図面1 before 1階平面図 1:100



写真6 構造補強して整理された小屋組



図面2 after 1階平面図 1:100



写真7 内部から校庭が見える



写真8 キッチンスペース



写真9 キッチンスペースより収納側を見る



写真10 キッチンスペースより薪ストーブ側を見る



写真11 土間スペースより収納側を見る



写真12 土間スペースより露天風呂の竹の囲いが見える



写真13 ウッドデッキ

設計データ

所在地	宮城県石巻市雄勝町桑浜	
主要用途	コミュニティーハウス	
設計・監理	細田みぎわ+ Hosoda Archi-Studio	
施工	Hosoda Archi-Studio 細田勇	
構造	主要構造	木造在来工法
	基礎	布基礎
規模	階数	平屋
	軒高	3,180 mm
	最高高さ	4,350 mm
	建築面積	43.607 m ²
外部仕上げ	延床面積	43.607 m ²
	屋根	雄勝スレート石葺き（既存）
	外壁	杉板下見板貼り t = 12 mm, 一部 既存杉板下見板貼り貼り直し
	開口部	木製建具, 一部 既存アルミサッ シュ取付直し
内部仕上げ	ウッドデッキ	杉板 t = 40 mm ペンキ塗り
	< 土間スペース, キッチンスペース >	
	床	三和土仕上げ, 一部 鉄筋コンク リート金コテ押エ
	< 畳スペース >	畳敷き, 一部杉板フローリング貼 り t = 12 mm
	壁：真壁部分	PBt = 12 mm 下地の上, 左官仕 上げ
	天井	既存のまま（梁あらわし）, 一部 構造用合板 t = 9 mm 下地の上, 杉板貼り t = 12 mm ペンキ塗り
	< 洗面所・WC >	
	床	鉄筋コンクリート金コテ押エ
	壁：大壁部分	PBt = 12 mm 下地の上, OSB t = 9 mm ペンキ塗り
	天井	構造用合板 t = 9 mm 下地の上, PBt = 12 mm ペンキ塗り
照明器具	大光電機	
	キッチン流し台	サンワカンパニー フィーネキッ チン W コンロ有 W = 1,200 mm
撮影	細田勇 ©Hosoda Archi-Studio	